

小中高 GIS 活用セミナー ～ 2022 年度高校地理必修化に向けて ～

2020 年 8 月 28 日 (金)
ESRIジャパン株式会社



概要

- ESRI ジャパンでは、小中高 GIS 利用支援プログラムをご利用いただいている学校向けに、定期的に、先生方の交流会を開催しています。
- 今回は、より多くの方にESRIジャパンの取り組みを知っていただくため、ウェビナー（Web セミナー）形式で開催します。



本ウェビナーの内容

	内容	発表者
1	GIS と 高校地理必修化	コンテンツグループ 福島 康之
2	海外の取り組み紹介	ソリューション営業グループ 鈴木 瑛莉
3	GIS の活用事例	サポート・トレーニンググループ（大阪） 松尾 陽平
4	教材として使える GIS	コンサルティングサービスグループ 福井 裕晋
	ご案内とまとめ	コンテンツグループ 福島 康之

ご質問について

- ご質問がある場合は、
Zoom 画面下の  (Q&Aボタン)を押して、
質問を入力ください。
セミナーの最後、または、後日、回答いたします。

1. GIS と高校地理必修化

世界には **どこ？** があふれています

船舶は
どこにいる？

効率よく太陽光発電
できる**どこ**は**どこ**？

杉の多い
森林は**どこ**？

野生生物は
どこに生息してる？

病院は
どこに建てる？

どこでどんな土地
利用をしている？

どこにどんな
都市がある？

耐震性が低い建物
は**どこ**に多い？

不動産価格が
高い**どこ**は**どこ**？

どこに公共施設を
立てると便利？

どこにガス管
を通す？

どこに広告を
出せばよい？

整備が必要な
信号は**どこ**？

どこに樹木を
植える？

車両は
どこを通った？

交通量の多い
道路は**どこ**？

地図＝どこ？を説明する共通言語

- 「どこに何がある？」という認識を、言葉を使わずに共有できる
- 地図は古くから用いられ続けた道具



古代バビロニアの世界地図
(紀元前600年頃)

出所: [Wikipedia](#)



プトレマイオスの世界図 (復元)
(紀元150年頃)

出所: [Wikipedia](#)



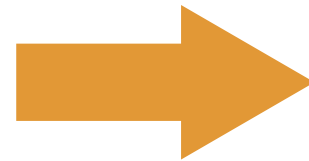
大日本沿海輿地全図 (伊能図)
明治6 (1873) 年頃

出所: [国立国会図書館デジタルコレクション](#)

GIS = 地理情報システム (Geographic Information System)

地図

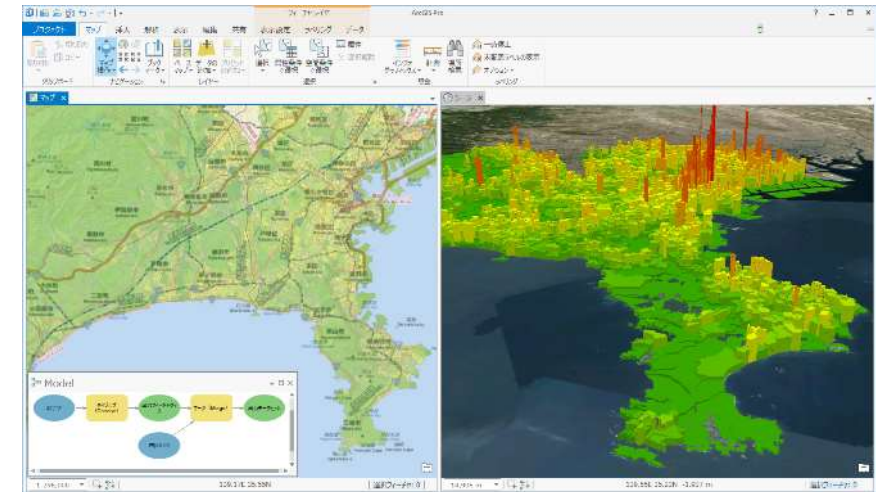
- どこ？を説明する共通言語
- 特定の場所の状況に関連付けた「絵」



デジタル化

GIS

- どこ？（地理情報）をデジタル化し管理
- 地図の表現の変更、分析、共有等が可能



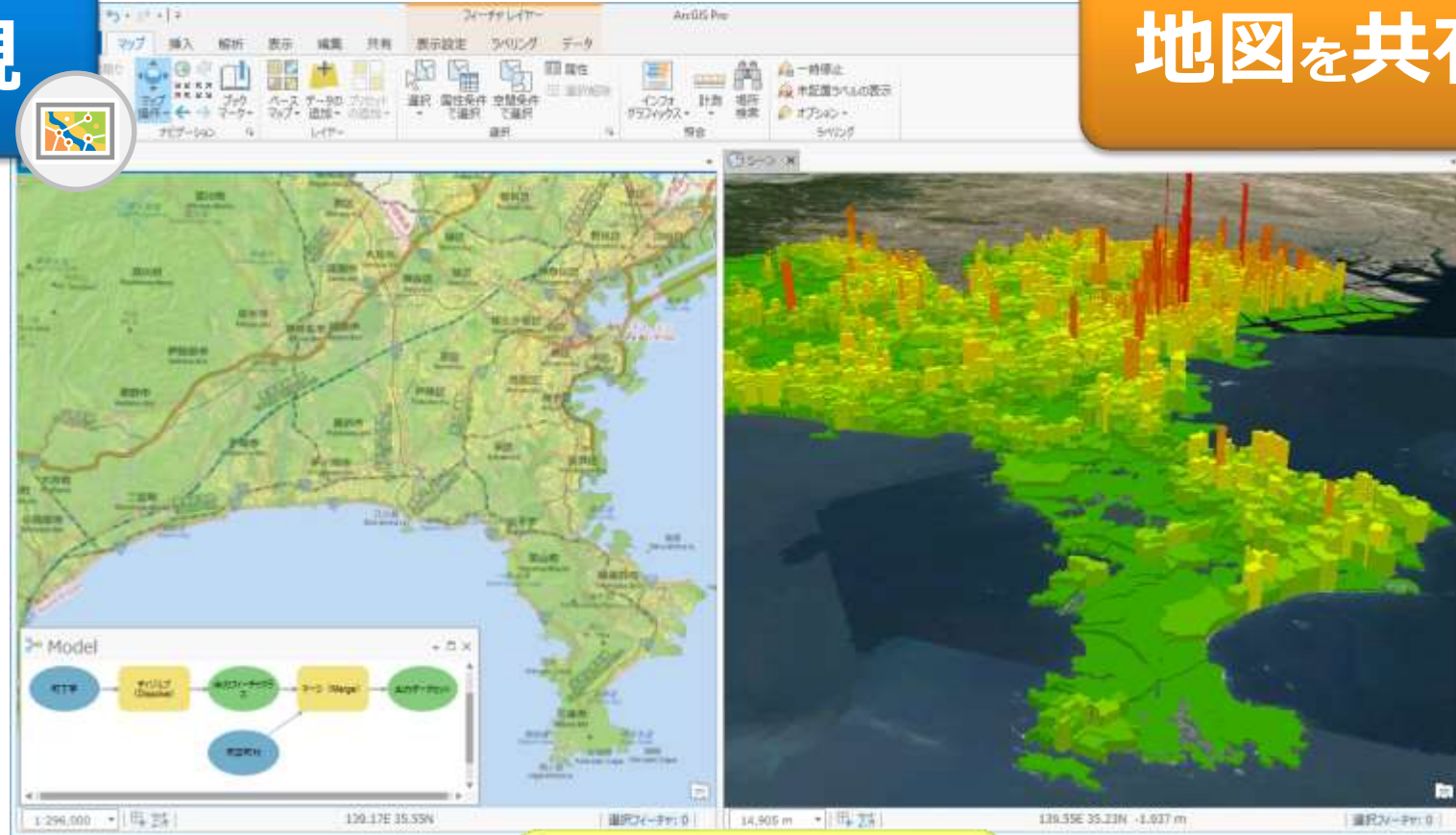
さまざまな どこ？をコンピューター上の地図で整理

GIS できること

地図で表現



地図を共有



地図で分析



高等学校学習指導要領の改訂

必修科目の「地理総合」を新設、2022年度から実施

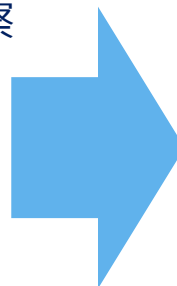
現行

地理A（選択）

1. 現代世界の特色と諸課題の地理的考察
2. 生活圏の諸課題の地理的考察

地理B（選択）

1. 様々な地図と地理的技能
2. 現代世界の 系統地理的考察
3. 現代世界の地誌的考察



改訂後

地理総合（必修）

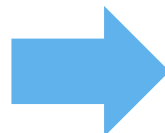
1. 地図や**地理情報システム**で捉える現代社会
2. 国際理解と国際協力
3. 持続可能な地域づくりと私たち

地理探究（選択）

1. 現代世界の系統地理的考察
2. 現代世界の地誌的考察
3. 現代世界におけるこれからの日本の国土像

社会的事象の地理的な見方・考え方の育成

「暗記型」



「課題解決型」

ESRIジャパンの教育機関へ向けた活動

- **教育GISポータル・教材の公開**

- 国の機関や自治体で公開されているデータを ArcGIS Online 上で公開
- インターネット環境があれば誰でもどこでもアクセス可能



GISday

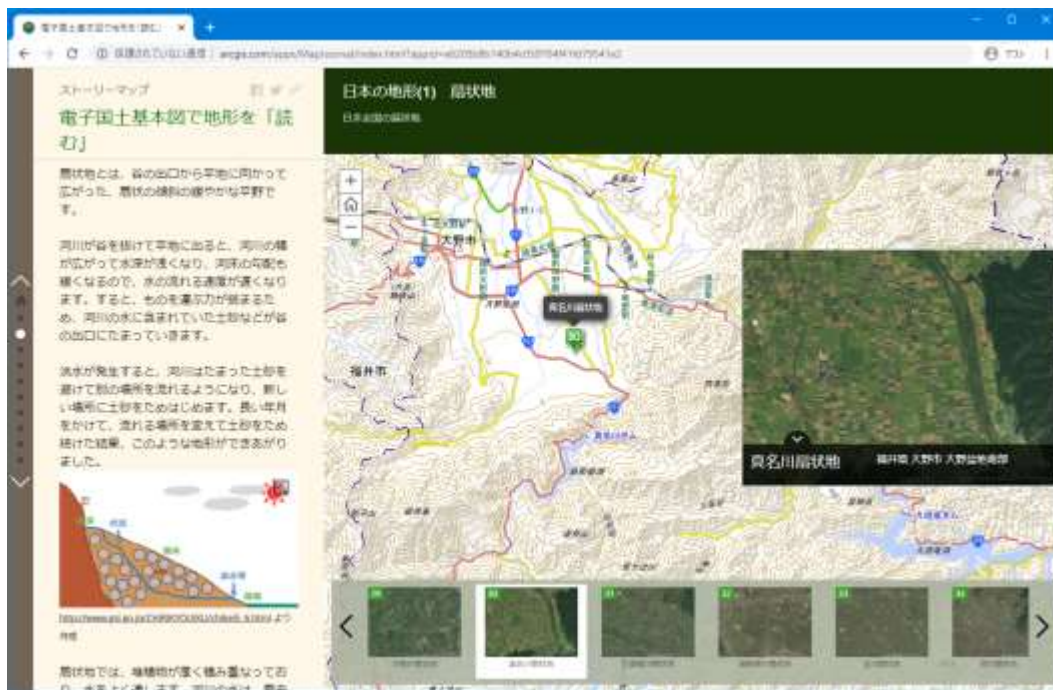
- **地理教員向けの GIS 講習会・説明会の実施**

- GIS Day(北海道・東京・関西・奈良・伊勢・四国・九州 等)でのワークショップ
- GIS 学会・日本地理学会での発表・講習会 など多数

「教育」への手厚いサポートを実施中！

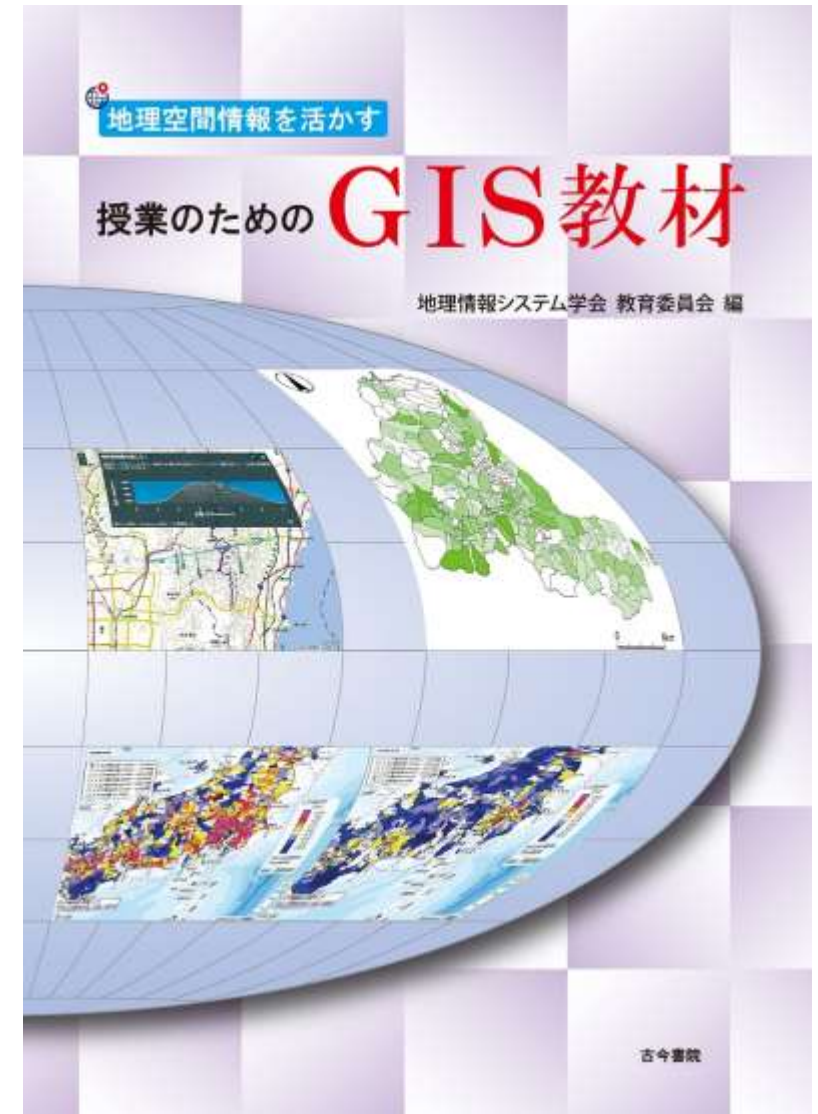
GIS教材への取り組み

ArcGIS が無くてもすぐに使える教材も提供



電子国土地形図で地形を「読む」

<https://arcg.is/2s8ymEe>



地理情報システム学会 教育委員会 編
古今書院

小中高教育における GIS 利用支援プログラム

ESRIジャパンでは小中学校、高等学校を対象に
ArcGIS 製品を無償で提供

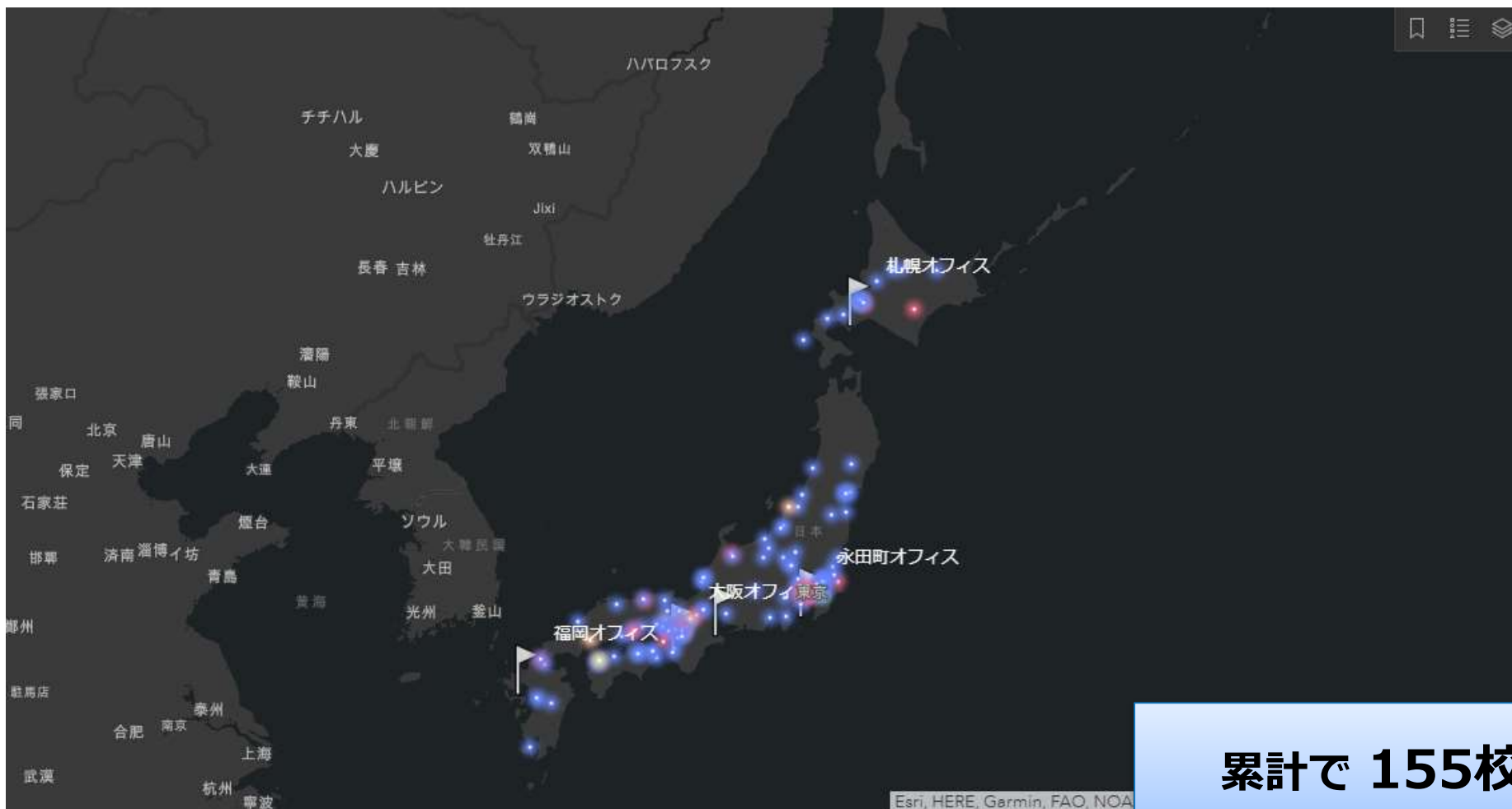
提供内容

- ArcGIS Online
- ArcGIS Desktop (GISソフトウェア)
- Q&A技術サポート
- GIS講習会の無償受講権

先生のためのGISコミュニティ広げるため
絶賛活動中です！



小中高 GIS 利用支援プログラム導入校



累計で 155校 に導入

2.海外における取り組み紹介

Esriの取り組み

2014年 公立教育機関を対象に 10 億ドルのソフトウェア寄贈を Esri 社が発表

<https://www.esri.com/news/details/59283/>

米国内すべての公立小学校から高校を対象に大規模な ArcGIS Online アカウントの寄贈を発表

→世界的に提供されることが決定

日本でも完全無償で小中高GIS利用支援プログラム開始！



Esri president Jack Dangermond

"Hundreds of Esri employees around the world work in education and training. It's in our DNA. We believe that education creates opportunities for people of all ages, and all stages of personal and professional development, to shine"

Esri User Conference & Education Summit 様子 (2019年)

- 例年7月の中旬に、Esri 製品ユーザーが米国カリフォルニア州サンディエゴ市で一堂に会する「Esri ユーザー会」が行われる。また、同時に教育機関でGISを教えている方向けにEducation Summit を開催している。
- 教育教材で活用できるツールやデータ、各学校での学習方法や学校内のシステムとの連携等の事例発表やワークショップが多数。



Esri User Conferenceの様子



Lurgan Schools, Northern Ireland による発表 (2019年)

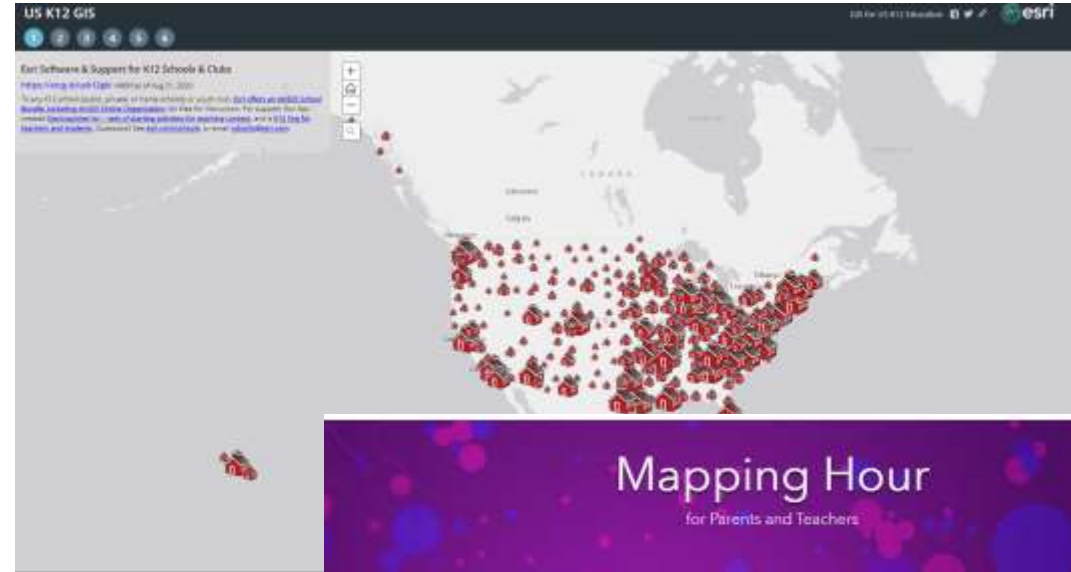
世界でのArcGISの活用 アメリカ合衆国

地理教育・GIS事情

- 米国にはGIS 学科（Geographic Information Science and Technology）が大学にて設置されているほど認知度があり、地理情報科学という地理情報を扱う包括的な科学的知識の教育として認められている。
- GIS技術士も普及しており、就職にも優位となる。
- 小中高校での教育でも「歴史・政治」を含めた地理教育が進められている。

Esriでの取り組み

- 教員組合と協力し、ArcGIS Onlineとワークシートを活用したGeoInquiries教材を作成。
- Mapping HourやLearn ArcGISといった教員むけのトレーニングプログラムを提供している。
- 2020年8月時点で4800の小中高でArcGISを利用している。



US K12 GIS

Esri Software & Support for K12 Schools & Clubs

Mapping Hour

for Parents and Teachers

Mapping Hour is a set of 20 informal one-hour instructional videos about ArcGIS Online for parents and teachers, with chunks that scaffold concepts and skills for using ArcGIS Online in K12 instruction. The videos take users from an initial experience with GIS to integrating tools for an involved project. [Read the program announcement.](#)

Register for the Mapping Hour

A Survey123 form for collecting sign-up information.

Take Survey

Mapping Hour episodes

Updates: Episode 20 is now posted under "Episodes". YouTube channel contains a special Vignettes playlist.

Episode 1 (1 of 4)

In this episode, Cherie introduces the Esri Schools Mapping bundle, Joseph and Kyle demonstrate some basic mapping skills with ArcGIS Online. [YouTube](#) | [OneDrive](#)

世界でのArcGISの活用 イギリス

地理教育・GIS事情

- ①位置の知識、②場所の知識、③人文地理と自然地理、④地理的技能とフィールドワーク、の4本柱が学習項目。
- 地理的技能とフィールドワークにて
「GISを使用して、場所とデータを調査・分析・解釈すること；地理的データから結論を収集・分析・作成するために位置を対照させ、複雑化する多様な情報源を使用する際に、フィールドワークを活用すること」となっている。
- 地形の成り立ちや水循環など日本で地学にあたるの内容が充実しており地理、自然災害と防災に関する知識を体系的に学習している。

Esri UKでの取り組み

- 元教員の社員を含む小中高ユーザーのチームがおり、教育教材を166も公開している。
- Esri UKとRoyal Geographical Society（地理学会）で協力し、地域でGIS教育に協力してくれる人を募集しサポートが必要な学校とつなげる活動をしている。



世界でのArcGISの活用 オーストラリア

地理教育・GIS事情

- 州ごとにカリキュラムは異なるものの、GISの技術を理解し活用することは求められている
- 南オーストラリア州のシラバスより
「地理的な要因を用いて課題を解決するために、適切で目的のある空間情報技術を用いたアプリケーションやフィールドワークを活用すること」

Esri オーストラリアでの取り組み

- オーストラリアのカリキュラムに合わせた教材等作成・公開し、Webinar等を教員向けに開催
- 小中高GIS利用支援プログラムを開始したばかりではあるが、多くの学校からの申し込みがあり急速に普及している。

	Skill	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	Syllabus objectives
Cartography — map creation	Use spatial technologies to create and annotate maps at an appropriate scale using area colour/shading and symbols for a specific purpose, e.g. précis map of land use	•	•	•	•	6
	Use data (primary data, including data collected in the field) to create maps and map layers using spatial technologies	•	•	•	•	6
Map use, interpretation and analysis	Use spatial technologies to analyse map layers/overlays to explain spatial relationships	•	•	•	•	1, 2, 3

GIS and Senior Geography syllabuses



世界からみた日本の地理・GIS教育？

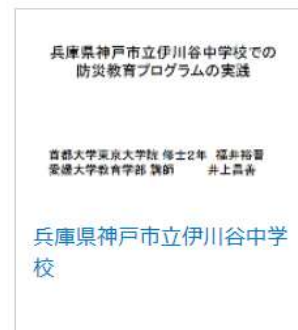
- 日本ではGISを教科横断的なカリキュラムで活用できるや教材が少なく、普及していない。海外では地理的な要素が各科目の基盤として多くの科目で応用されている。
- 海外では小学校・中学校からICTに触れる機会が多くあり、GISもその1つとして身近に感じられる。
- 日本はGISが社会に普及し、早い段階からGISを教育で活用することに対しての関心や興味は高いように思う。ただ、カリキュラムやハードウェア・インターネット等の普及率など課題も多い。
- GISを学ぶことで就職や資格に繋がるといった社会からのアプローチも必須。

**世界の教育機関とのGISコミュニティも活用し、
日本での教育現場におけるGIS活用の普及を促進していく**

3. GIS の活用事例

活用事例の掲載

- 先生方による GIS の活用事例は下記に掲載しています
- <https://ej-education.maps.arcgis.com/apps/MinimalGallery/index.html?appid=069c1aa65710443f97c3280618b39c2b>



事例紹介

- **小中高利用支援プログラム利用校での実践例**
 - 大阪府立岸和田高等学校
 - 新潟県立長岡大手高等学校
 - 富山国際大学附属高等学校
- **ESRIジャパンによる出前授業実施事例**
 - 私立明法中学・高等学校（東京都）
 - 松山市立三津浜中学校（愛媛県）
 - 私立青翔開智中学校・高等学校（鳥取県）

小中高利用支援プログラム利用校での実践例

大阪府立岸和田高等学校

- 学校設定科目「探究／国際総合」で ArcGIS Online を取り入れた授業を実施
- 各生徒が地域課題に関する地図を作成し、ArcGIS Online で公開
 - 待機児童問題（保育所分布と年少人口データ）
 - 災害履歴地図の作成
 - 大阪府内各市町村におけるゴミ処理事業に関する研究 etc...
- 地域の方や近隣大学と合同でフィールドワークを実施

公開された地図

<http://kishiwada-hs.maps.arcgis.com/home/index.html>



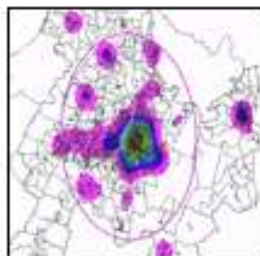
2018 年日本地理学会秋季学術大会高校生ポスターセッション 理事長賞受賞

新潟県立長岡大手高等学校

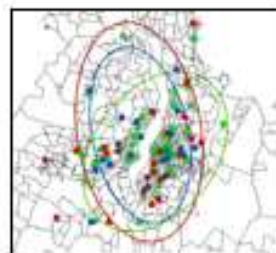
- ArcGIS Desktop を活用して地域の事象を解析
 - 各グループでコンビニ、AED、避難所、小児科医療機関、環境資源の分布について紙地図を作成後、GISで解析
 - 農林業センサスのデータを用いて地域の農業の特色を解析



コンビニのアナログ分布図



AEDのカーネル密度



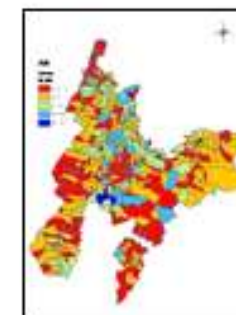
コンビニの標準
偏差楕円



避難所の
ポロノイ分割



500m以内の
小児科医療機関



300万未満の
販売農家数

富山国際大学附属高等学校

- 情報科2年生：「情報分析と表現」の授業でGISとリモートセンシングを学習

- ArcGIS Pro を使用してオープンデータと独自のデータを組み合わせることで主題図を作成、分析

県内のコンビニ店舗の立地からどのような傾向が見えるのか分析（行政界・道路・人口・コンビニ）



行政界・人口メッシュ・コンビニ&市役所ポイント（多重リングバッファ）の表示

- リモートセンシングの基本的な実習



トゥルーカラー

フォールスカラー

ナチュラルカラー

ESRIジャパンによる出前授業実施事例

出前授業キャンペーン

- 2019年7月～12月に利用支援プログラムを申し込んだ学校を対象に、ESRIジャパン社員による無償の出前授業を実施しました。

出前授業で選べる 3 つのテーマ

統計

オープンデータを使って統計地図を作成します。その上に、公共施設や災害情報のデータを重ね合わせることで、地域の課題を把握します。



安心・安全

現地調査アプリで地域の危険な場所などを調査します。収集したデータをGIS上で様々な表現で可視化することで地域の課題を発見します。

情報収集 → 集計・整理 → 加工・分析 → 地図表現 → 解釈・考察

GISの一連の作業を行うことにより、地理的な見方考え方が身につきます！

野外調査

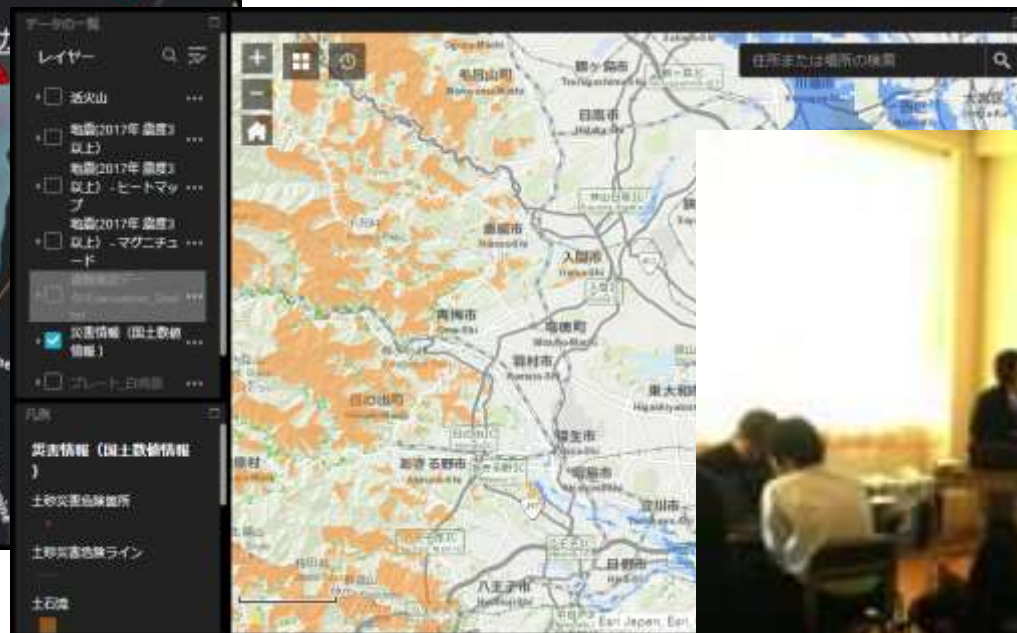
必要な調査項目を作成し、スマートフォンやタブレットから調査を実施し、データを収集します。

- 校内マップや地域の危険な場所マップ、個人のテーマに応じた調査などにご利用いただけます



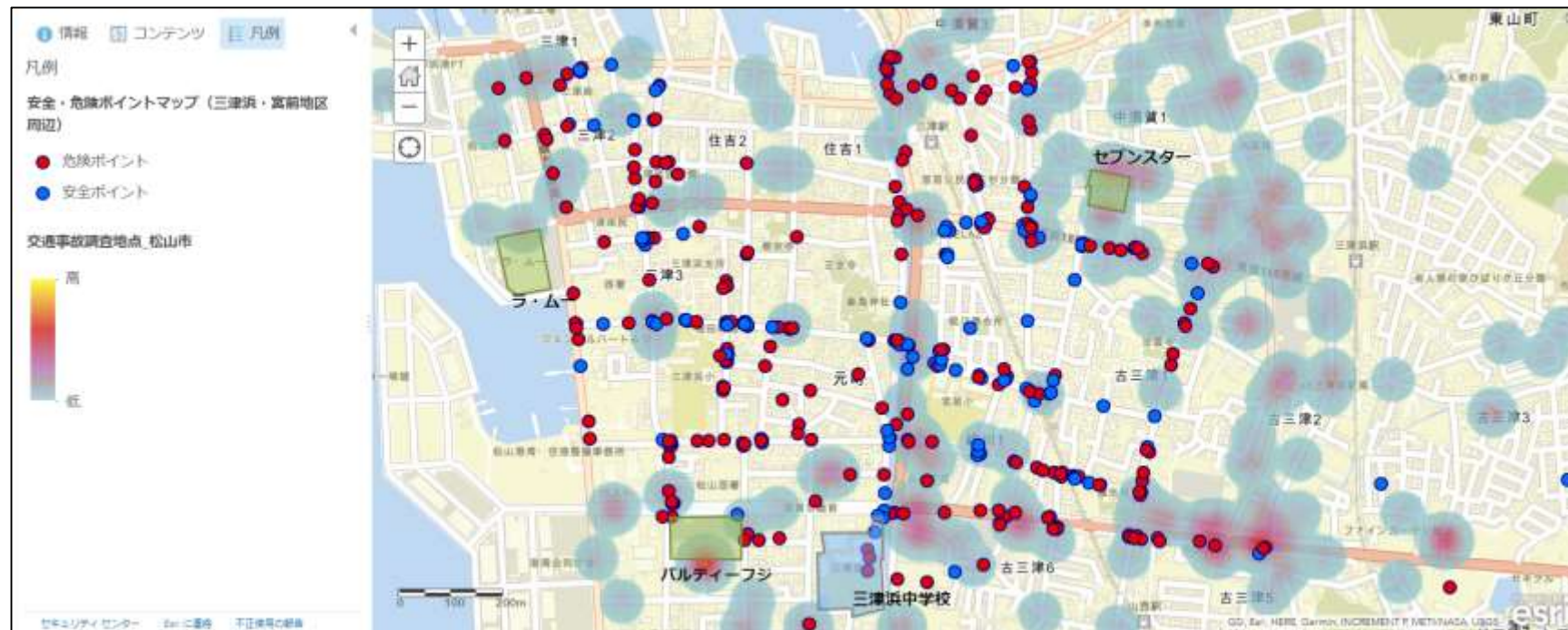
私立明法中学・高等学校（東京都）

- 中学1年生の地理授業でGISを使用、学校所有のノートPCを使用
- 情報の可視化、様々なレイヤーの重ね合わせにより気づいたことをグループ討議で共有



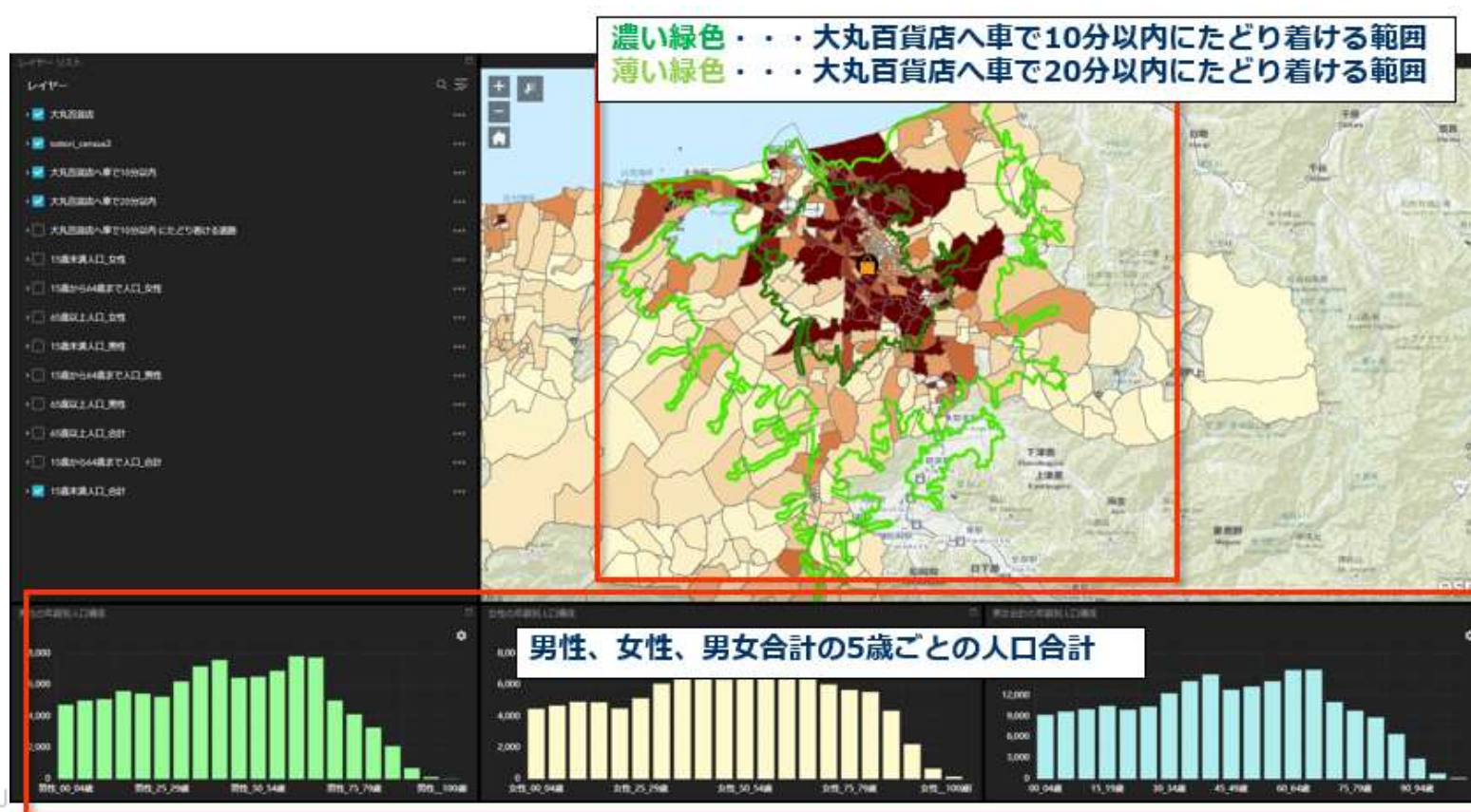
松山市立三津浜中学校（愛媛県）

- 中学2年生150名を対象に数コマの授業「三津浜安全プロジェクト」
 - 大学の先生、警察署の方から地域の安全に関する講義
- 現地調査アプリにて学校周辺の安全ポイント、危険ポイントを入力
- 生徒の調査ポイントと実際の交通事故データを重ね合わせて考察



私立青翔開智中学校・高等学校（鳥取県）

- 以前から中学校 1 年生探究科では、鳥取駅前の大丸百貨店の新商品・マーケティング施策の提案
- 大丸から商圈内の人口構成を分析して商圈分析を体験



4.教材として使える GIS GISカード™ ver1.1 リリースのお知らせ

背景（地理の授業でGISを扱う現状について）

- GISと用語は聴くが、授業でどのように取り入れればいいのか
- ハイスペックなPCを用意できない
- ネット環境が弱い
- 毎回、PC教室で授業ができるわけではない
- 授業ができたとしても、1回の授業時間は50分程度



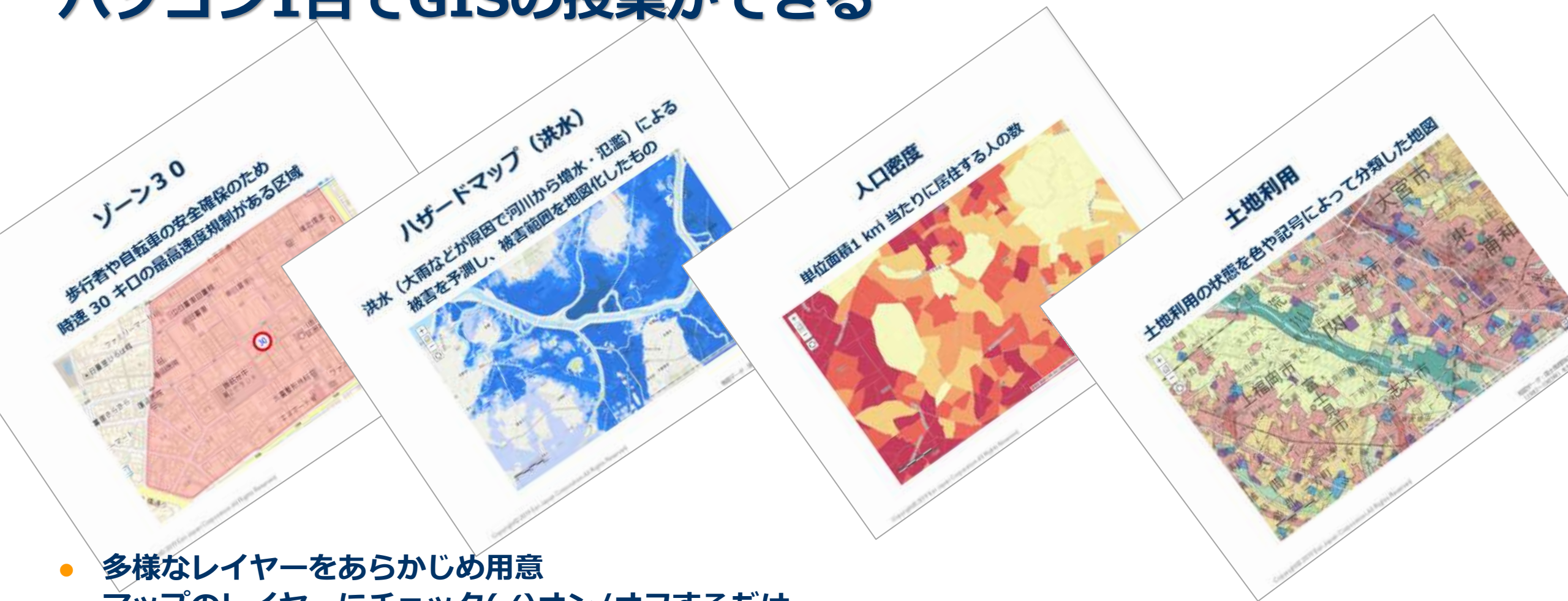
不安



不便

GISカード™

パソコン1台でGISの授業ができる



- 多様なレイヤーをあらかじめ用意
- マップのレイヤーにチェック(✓)オン/オフするだけ
- 紙のGISカードも用意しており、印刷頂いてのご利用や机上での活用が可能
- 個人でもグループでも作業可能

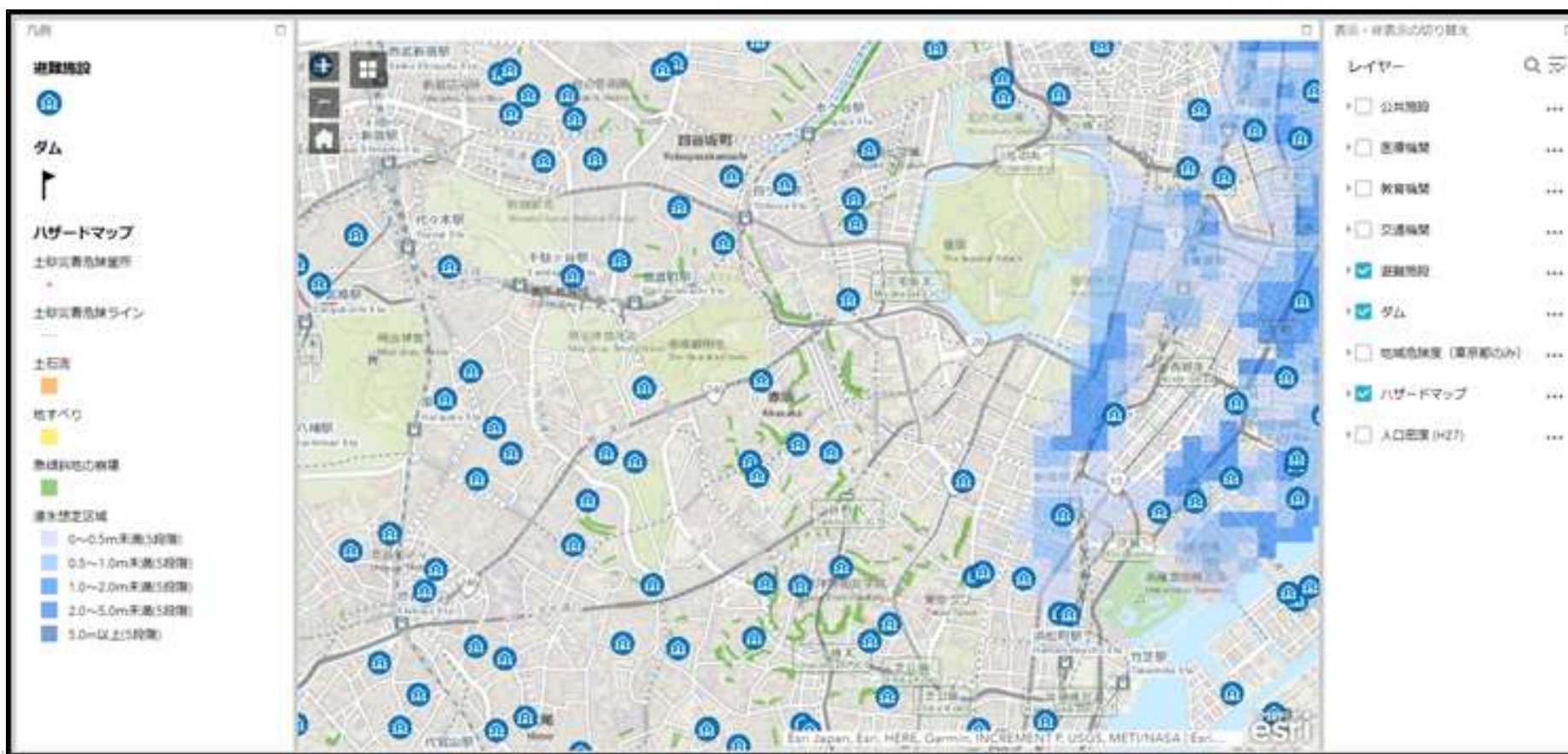
GISカード™の特徴

1. 準備不要
2. パソコン1台とプロジェクターまたはタブレットでも運用可能
3. ゲーム感覚/興味を持ちやすい
 - アクティブラーニング
 - 思考力の強化

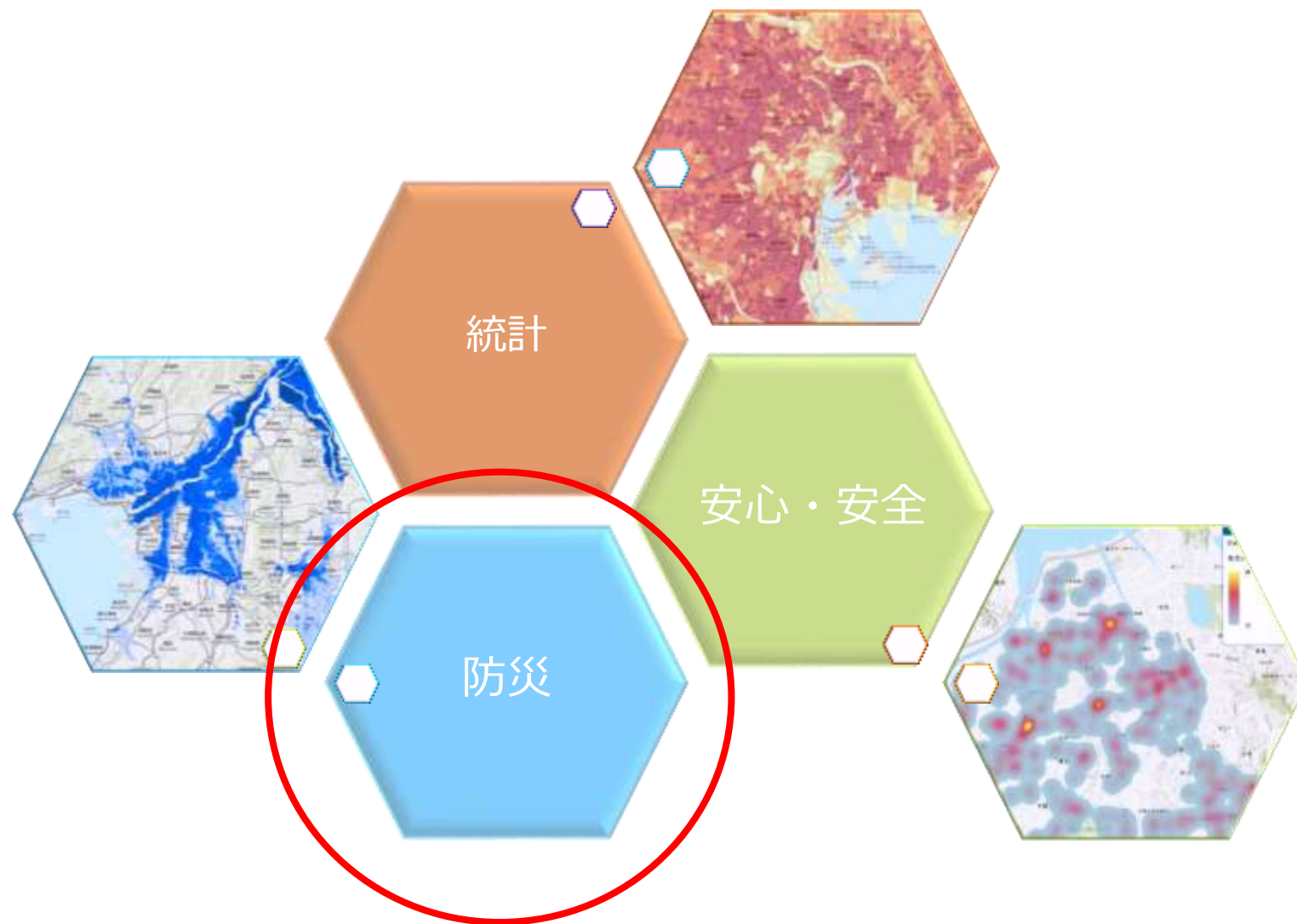


GIS カード™ イメージ

- Webマップ上でレイヤーのチェックのオン/オフをするだけで、GIS がどのようなものかを理解できる学習ツールです。



テーマ



GISカード™ ver1.1とは

- 防災をテーマに作成しています。
- インクリメント・ピー株式会社(ipc)と協業し全国のデータが利用できます。
- 特定の地域から近隣の地域まで幅広く活用することができます。

利用データ一覧

- 公共施設
- 医療機関
- 教育機関
- 交通機関
- 避難施設
- ダム
- ハザードマップ
- 人口密度（平成27年）
- 地域危険度(東京都)



公共施設



官公署、学校、病院、郵便局、社会福祉施設等の場所

医療機関



病院の場所

教育機関



大学・短期大学・小中高等学校・特別支援学校、公民館の場所

交通機関



空港やフェリー・旅客船等発着場の場所

避難施設



住民が災害から避難するために災害の危険がなくなるまで、または一時的に滞在することを想定した施設の場所

ダム



治水や水力発電のために川や谷、くぼ地をコンクリートなどで包囲している場所

ハザードマップ



自然災害による被害を予測するための地図

人口密度(H27)



単位面積1 km² 当たりに居住する人の数

地域危険度



建物倒壊危険度と火災危険度・災害時活動困難度を加算して、ランキング化した東京都が公開している地図

タイトル



説明

授業の流れ（防災学習）

テーマ：自分たちの住んでいる地域のハザードマップを作成しよう

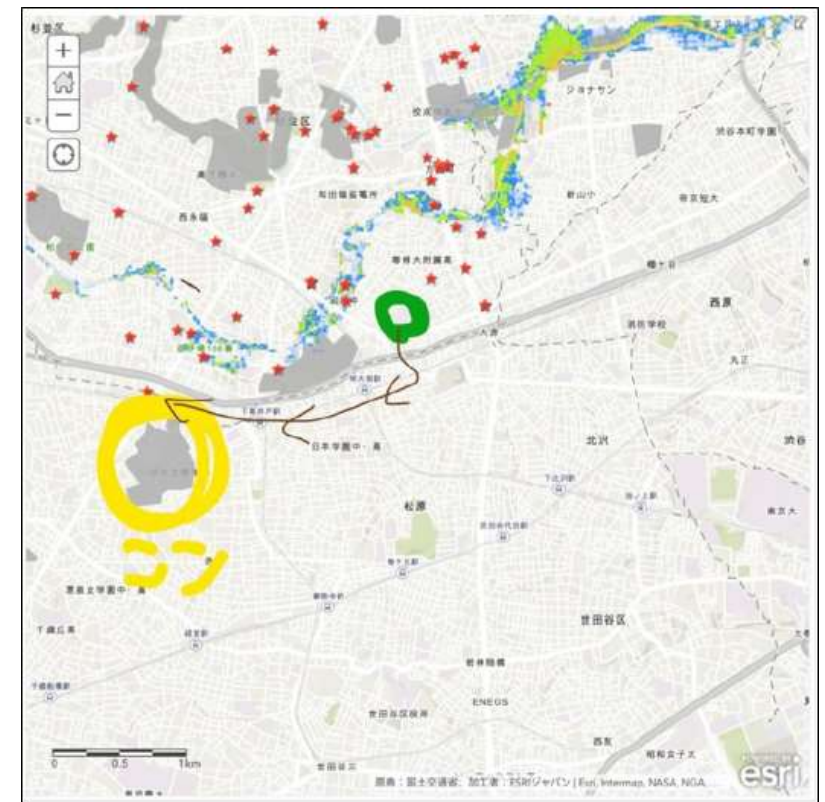
①話し合い



②地図作成



③発表



授業の流れ

①話し合い

- 3～4 人のグループをつくり、ハザードマップを作成するために、どんな情報が必要か話し合いを行う。
- 必要な情報が決まったら、GIS カードの中から、特に必要なものを3～4 枚ピックアップする。(紙のカードは割愛します)

授業の流れ

②地図作成

- 話し合いを行いながら、GISカード(Webマップ) で自分たちが選んだレイヤーにチェックをいれます。作成したハザードマップの情報で十分なのか話し合いをします。
- 情報が十分ではない場合は、他にどんな情報が必要か話し合いをします。

授業の流れ

③発表

- Webマップの[凡例] ボタンを選択し、凡例を表示させます。
- 発表者は、誰に、どのような理由で、どのデータを選択したのか、などを発表します。

作成例) 近隣住民への防災意識を認識するために、土砂災害危険箇所と避難所の関係を地図に表示しました。

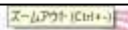


GISカード提供物

- ArcGIS Online アカウントの紐づけ *
 - 手順書
 - カード(印刷して利用します)
 - ルーブリック評価基準表(サンプル)
-
- 小中高支援プログラムをご利用の学校であれば、どの学校でも利用できます。
 - 資料は、すべてパワーポイントで提供します。
ご自身で自由に加工して利用いただいて構いません。

神戸GIS防災教育セミナー

- 日時：2020年8月5日（水）
- 参加者：愛媛大学教育学部講師、神戸市の中学校教員など 計10名
- 内容：①GISを活用した防災教育の事例紹介
②GISカードを学校の授業において、活用するためのディスカッション

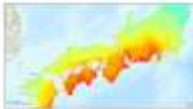



神戸 GIS 防災教育セミナーの開催のお知らせ

8月5日（水）に「神戸 GIS 防災教育セミナー」を開催いたします。

本セミナーは、GIS（地理情報システム）を活用した防災教育に関する意見交換及び議論を行うことによって、学校現場における防災教育の更なる推進を目的として実施するものです。Esri ジャパン 考案の「GIS カード」を用いた実践事例を共有したうえで、「GIS を活用した防災学習の充実のために必要なことは何か」というテーマについて、参加者と共に考えを深めていきます。

■開催日時	2020年8月5日（水） 午前10:00～12:00
■開催場所	オンライン形式にて実施
■準備物	タブレット/ノートパソコン（インターネット通信が必要）



■アジェンダ

1. 趣意説明 発表者：愛媛大学教育学部 講師 井上昌彦 様
2. 参加者自己紹介
3. GIS カードの取り組み紹介（愛媛大学での取り組み等） 発表者：Esri ジャパン株式会社 様
4. GIS カードの活用についてのディスカッション
5. 防災教育の事例紹介 発表者：愛媛大学教育学部 講師 井上昌彦 様、Esri ジャパン株式会社 様
6. 質疑応答

【お問合せ先】
愛媛大学教育学部 井上 昌彦
電話：089-927-1111（内線2222）
Eメール：houmasayoshi.ak@ehime-u.ac.jp

GISカード活用に向けて参加者から出た主な意見

- 対象地域や授業で考える上で災害の種類を絞り、マップを作成する必要がある。
- 使用するデータの説明が必要
- 授業時に活用できるかもしれないデータ
 - 道路の道幅のデータ
 - 河川のデータ

小中高教育における GIS 利用支援プログラム

以下の製品を無償で利用できます

対象
文部科学省認定の小学校・中学校・高等学校



ArcGIS Online

- マップを作成、利用、管理するポータル環境を提供するクラウド GIS



Survey123 for ArcGIS

- シンプルで直観的な調査票で GIS データを収集できるアプリ



ArcGIS Pro

- 地理情報および関連情報を統合し、利活用するための一連の機能（情報の可視化/解析、データの作成/管理/出力 等）を豊富に提供する高機能 GIS ソフトウェア

お申し込みは、 <https://www.esri.com/form/education/school/> から

まとめ

- GISカード™ ver1.1をリリース
 - 1. 準備不要
 - 2. パソコン1台とプロジェクターまたはタブレットでも運用可能
 - 3. ゲーム感覚/興味を持ちやすい
 - アクティブラーニング
 - 思考力の強化
- GISカードの利用には、小中高利用支援プログラムの申請が必要

お知らせ

GISカードを使用した模擬授業

日本地理学会（秋季大会）

- 日時：2020年11月21日（土）13:00～17:00
- 会場：オンライン（Zoom）
- 参加費：無料（どなたでも参加可能です）
- 概要：GISカードの概要と模擬授業を実施

※詳細は、日本地理学会ホームページをご確認ください。

<https://www.ajg.or.jp/20200822/7006/>

ご案内とまとめ

自宅で学ぼうGIS

<https://www.esri.jp/getting-started/learn-at-home/>



自宅で学ぼう GIS

ESRIジャパンでは、「GISを学んでみよう!」という皆様を応援するため、様々な環境・ニーズに合わせた豊富な学習リソースを提供しています。「GISをはじめてみたいけど、何から手を付ければよいかわからない」、「体系的にしっかり基礎を学びたい」または「もっと様々な活用法を知りたい」といった方だけではなく、ArcGISを使ったオンライン授業を計画する教員の方や、新人研修のためのヒントにもなります。ぜひご活用ください。

GISを「知る」

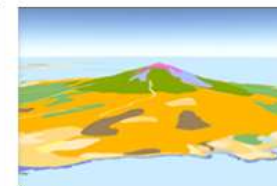
まずは、GISの概念と、どのようなことに使われているのかを学びましょう。



GISとは?

GISを使って解決できる課題はなにか、GISでできることはなにかをご紹介します。

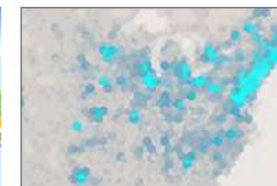
見る



GIS基礎解説

よく使われる技術や用語をわかりやすく解説しています。

見る



The ArcGIS Book

ArcGISの基礎から活用までをご紹介します。GISに関わるすべての方々に役にたてる内容です。

ダウンロード(PDF)



ArcGIS活用事例

ArcGISを課題解決に利用したユーザー事例をご紹介します。

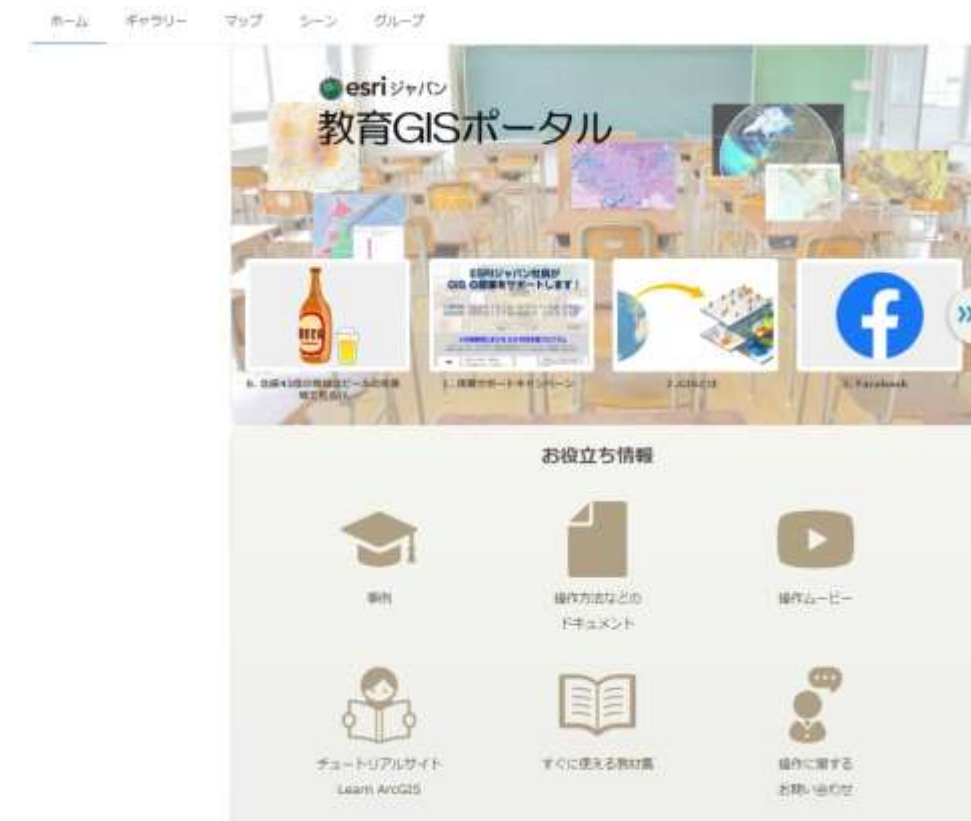
見る

GISを「知る」
GISに「触れる」
GISを「使ってみる」

教育 GIS ポータル

<https://bit.ly/2Ui4fsG>

- 事例や教材用データなど授業で ArcGIS を扱う際に役立つ情報を公開しております。



GIS in the Classroom

<https://www.esri.jp/s/classroom>



ESRIジャパン 教育GIS Facebook

<https://www.facebook.com/EsrJapanEducation/>



The screenshot shows the Facebook profile of 'EsriJapanEducation'. The profile picture is a globe with a grid. The cover photo features the text 'GIS in the Classroom' and '地図の活用で深まる学び' over a classroom background. The left sidebar includes navigation links: ホーム, 投稿, 写真, 基本データ, コミュニティ, and a green button 'ページを作成'. The main feed shows a post from 'EsriJapanEducation' dated August 18, 2020, at 2:13 PM, announcing a 'Web Seminar' for 'GIS活用セミナー～2022年度高校地理必修化に向けて～' on August 28, 2020, from 18:00 to 19:00. The post includes a link to the event details. Below the post, there are 3 likes and a share button. The right sidebar shows the page name 'EsriJapanEducation', the number of likes (27) and followers (35), and basic information including the phone number 03-3222-3941, a contact link for Messenger, the website www.esri.com, and the category '教育'.



GIS Day in 伊勢 2020

<https://gis-day-in-ise-2020-ogakkangis.hub.arcgis.com/>

- 2020年10月31日 オンライン開催
- 13:00～13:20 開会のあいさつ
- 13:30～17:30 GIS講習会① 自治体・まちづくりコース
(定員20名) 講師：ESRIジャパン株式会社

地域が抱える課題や自治体等の業務課題について話し合いながら、GIS を用いて地図を作成したり、分析したりして、GIS を通した課題解決の力を実践的に身に付けることができます。

- 13:30～17:30 GIS講習会② 高校地歴コース (定員20名)
講師：桐村喬 准教授 (皇學館大学)

令和4年度からの高校「地理総合」の必修修化を念頭に起きつつ、GIS の基本的な操作方法、クラウドGIS を利用したフィールドワークや教材作成の方法、GIS の活用事例について学習します。

GIS学会（2020年10月24日、25日） オンライン開催 優良事例表彰について

皆さんの取組みを優良事例表彰に
応募してみませんか？

まもなく締切
(8/31 17:00) !

2020年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰 募集要領

1. 趣旨

日本学術会議からの提言や中学校・高等学校の学習指導要領などでは、初等中等教育現場においてGIS(地理情報システム)を実践的に活用した授業の展開が求められています。さらに、次期の高等学校学習指導要領改訂で必修科目として設置される見込みの「地理総合」では、GISを活用する能力の習得が求められることが見込まれています。

こうした中、GISはアプリケーションの操作性やデータ収集等の面で、多くの教員にとって活用のきっかけをつかみにくい傾向にあることから、授業計画において先導的な取組みを実践している教員を対象とする表彰制度を創設し、普及・展開の契機としていくものです。

2. 応募資格

日本国内の初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員等個人(教員以外の方も含みます)またはグループ。
過去に受賞されている個人またはグループでも、別の取組であれば応募していただけます。

3. 応募方法

この [\[PDF\] 申請書](#) に必要事項をご記入の上、必要な資料等※を添付して、募集期間内に、6. の「問い合わせ先、申請書送付先」まで、電子メールによりご応募してください。

※ 取組みの特徴の分かる地図は必ず添付してください

(仮・募集期間) 2020年7月1日(水)～8月31日(月)17:00必着

4. 選考方法

地理情報システム学会、国土交通省、文部科学省から構成(予定)する審査委員会による審査の上、選考します。

選考にあたっては、GISの効果的な活用の観点、地図の効果的な利用の観点等を総合的に勘案して審査します。

まとめ

- **ESRIジャパンでは2022年の高等学校地理必修化に向けて、さまざまな取り組みを行っています。
ぜひESRIジャパンの取り組みを有効活用ください！**

Q&A

アンケートにご協力ください。



<https://arcg.is/0eaSPb>

↑ 回答はこちらから ↑